

困り感  
・弱視の為、黒板や資料の字を読みづらい



取り組みの内容・授業の様子等

☆教師や児童・生徒は、個々に手元のiPadで、発表者がその都度書き込みしていく資料を、リアルタイムで同じように確認することができる。  
☆児童・生徒が授業に対して、より興味や関心を持つ為の、手助けのツールとなる。

- 使用アプリ：『RICOH Smart Presenter 』
- 準備物：iPad 10台、WiFi環境
- 事前準備：作成したpdfファイルをiTunesで「RICOH Smart Presenter」に入れ、iPadを同期させる。

→WiFiで接続したiPadで同じ資料を閲覧することができる。

- 活用方法：発表者のみ資料上に書き込むことができ、その発表者は交代することができる。

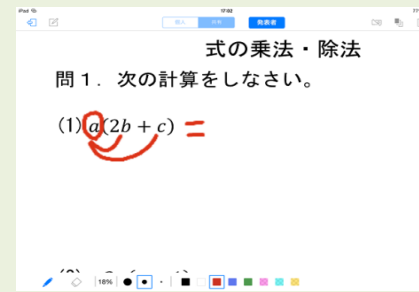
◎実際の活用例：  
・対象学年…中学部2年生、教科…数学  
・活用後の感想…生徒の見やすいサイズで資料を提供できた。その為、授業への関心が高まった様子だった。

◎教師向けの研修会を実施：iPad研修会を通して教員への周知をはかった。  
・研修を受けた教員の感想…

○実際にアプリを使用し、手元のiPad画面（事前に用意されたpdfファイル）に、PenやEraserを使って書き込む体験ができたのでよかった。  
○書き込まれた内容を同時に確認しながら、やり取りできる楽しさがわかった。



アプリ  
RICOH Smart Presenter



成果と今後の課題

- ・生徒の授業への関心が高まった。
- ・複数台のiPadに同じ画像を出すことはできるが、その書き込んだ資料をプリントアウトができない。
- ・生徒の手元に形として残すには、プリントを事前に用意し、生徒が書き込む必要がある。